

京都BCP図上訓練アンケート

平成 29 年 10 月 12 日～16 日に開催しました京都BCP図上訓練につきましては、大変お疲れさまでした。

また、アンケートに御協力いただきありがとうございました。今後の京都BCPの取組に向けての参考とさせていただきます。

1 良かった点・成果と思う点

- 実時間で行うことで、具体的なスケジュール感が体感できた。組織内での BCP 発動時の継続計画及びマニュアルに組み込んでいきたい。
- 詳細な被災状況の付与と、前回の意見交換会での報告様式記載方法について話し合った結果、4 行庫の作成内容に統一感があった。
- ホームページへの掲示作業が行える人員を増やすことができた。
- 本件図上訓練を通して判明した課題や問題認識を関係機関で共有できるため、スキームの改善にも資すると感じた。
- 訓練を重ねるごとに習熟度が上がってきていると感じる。今後も定期的な訓練の継続をお願いしたいと思う。
- 各機関で定期的に人事異動もあるため、繰り返し定期的に有事のシミュレーションを行うことは、いざ事が起こった時にスムーズな事務処理を行う上で重要だと感じた。
- 担当者が変わり今回初めて訓練に参加し、事前に手順の確認等は行っていたが、店舗一覧の作成や電子メールの送信等に時間を要した。反復訓練が必要であり、今後も定期的な訓練が必要であると感じた。

2 課題と思う点・改善するべきと思う点

- 営業店舗、ATM 稼働一覧の記載方法について、一部の業務のみ取扱いや営業時間、復旧見込み等全てを記載することが困難である。また、記載事項が多いと混乱するのではないかな。
- 前回のアンケートにもあったが、各行庫で入力（表示）項目及び形式に統一感を持たせることが必要ではないかと感じた。それぞれ伝えたいことの優先順位や範囲は違うとは思われるが、お客様側から見て判り易く、誤解を与えない表現を共有していければと思う。
- 様式 8 と 8-1 において、現況の記入欄がせまいため、記入内容の文字が小さくなり読みにくい。
- ホームページ上には前日の情報が、当日 AM9:00 の情報としてリリースされる。作業時間もありやむを得ないとは思われるが、何かギャップを埋める方法がないものかと感じた。
- 前回の訓練と同様に、様式 7 をまず平時の幹事行庫に FAX を送り、有事の幹事行庫を決める方法がより実践的であると思った。
- 壊滅的な被害を受けた場合を想定すると、訓練通りの対応が出来ないことも予想されるし、使用できる通信手段が限られることもあるかと思う。また、対応に追われることや人手が足りなくなる等相当厳しい状況下となることを考えると出来ることも限られてくるかも知れない。

3 その他気づいた点など

- 危機発生時には、京都 BCP と同時に所属組織の危機管理本部事務局の役割を兼務することになる。そのことを意識して、PC に入力しながら集計及び報告作業を進めていたが、時間的にやや無理があった。事前準備と自部署内の体制構築の必要性を再認識した。
- 今回の被災状況付与のように、一部の地域が地域停電になった場合、店舗外 ATM が使用出来ないことを想定しなければならず、自家発電設備のある店舗が少なく、対応方法を考えておくべきであることを気づかされた。
- 発災時に設置する非常事態対策本部で使用するパソコン、FAX 等での訓練が必要であると感じた。
- 災害時等の優先電話番号等の確認をしておくことも必要であると思う。
- 営業店舗、ATM 稼働一覧について、大規模地震発生時以外の有事の場合にも活用できるよう、活用方法について共有しておいたほうが良いのではないかと。